

# QMS委員会 2022年度事業計画

## 第4号議案

2022年7月29日

CIAJ QMS委員会

## ◆目次

1. 活動方針
  2. 運営体制
  3. CIAJ本体からの指示事項
  4. 2021年度の申し送り事項への対応
  5. 2022年度の運営方針
  6. 2022年度の活動計画
- [ご参考] 外部機関との連携（行政・社会性）**

# 1. 活動方針

## 活動方針

・グローバル経済の中、**3つの活動視点(会員企業, 行政, 社会性)**により、ISO 9001に準じたQMSを活用し、**会員企業の製品品質/サービス品質及び経営品質のパフォーマンス向上を目指す。**

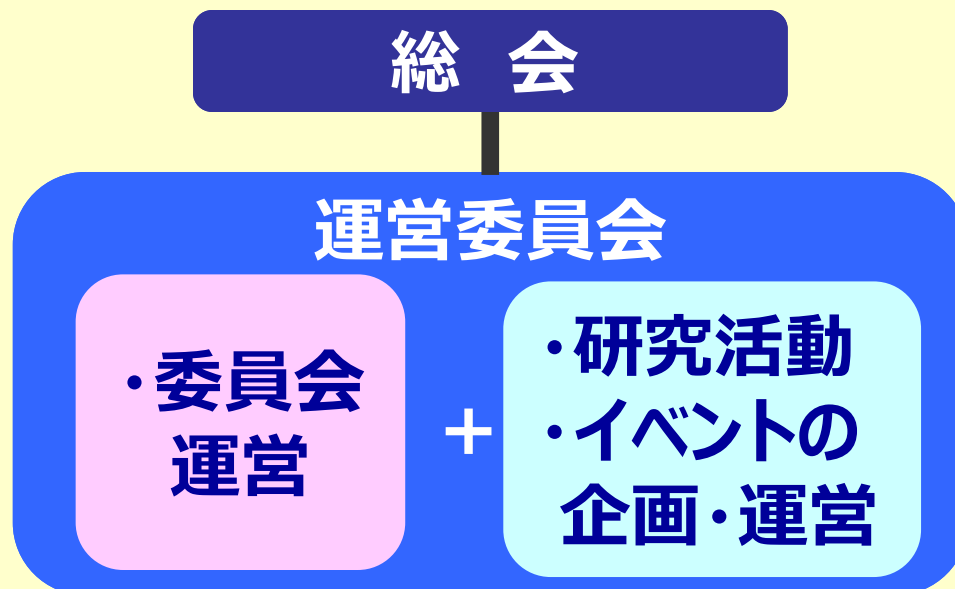


< **3つの活動視点** >

## 2. 運営体制

### 運営体制

- 運営委員会：委員長, 副委員長, 運営委員, 会計監事, 特別委員, フェロー
- 運営委員会開催時, 各イベントの企画検討状況・進捗状況の確認, 成果物等のレビューを実施
- QMS研究活動は運営委員会開催時や各イベントとのコラボレーションによる運営一体化にて効率的な委員会運営を実現



会員企業数	：	8社
委員長	：	1名
副委員長	：	2名
運営委員	：	1名(TC176委員含む)
特別委員	：	1名
会計監事	：	1名(副委員長兼務)
フェロー	：	2名
(2022年7月25現在)		

## 3. CIAJ本体からの指示事項

### 委員会活動への指示事項

- ① 事業計画策定方針を考慮した委員会活動の見直し、事業計画の策定
- ② 共通経費の一部負担（繰越金の取り扱いについては、共通経費負担に充てることを可能とする）
- ③ 予算精度を高めるための実行をともなった予算値策定
- ④ 法人としてのコンプライアンスの遵守

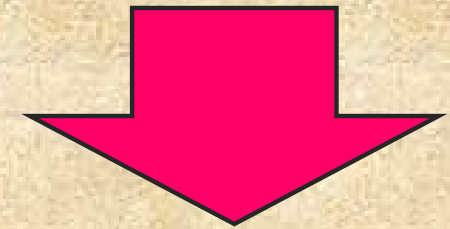
### QMS委員会の取組み

- （1）2022年度の活動計画（P8～P10参照）を実施し、会員企業におけるQMS活動の基盤強化・向上に貢献する。
- （2）イベント・企画の実施については、会員企業にとって役立ち、参加し易い企画（社会状況、事業環境変化、公益性の観点を踏まえ）をミッションとし、会員企業へ募集を行う。
- （3）会員企業とのダイレクトなコミュニケーション（オンラインを主とする）を定期的に実施し、QMS委員会の将来の活動の方向性について、意見収集するとともに、活動を活性化するため、運営へのメンバー募集を継続していく。

## 4. 2021年度の申し送り事項への対応

### 2021年度活動のふり返りをふまえた申し送り事項

数年間続くパンデミックに起因する社会活動状況や企業活動状況の大きな変化を踏まえ、QMS委員会は会員企業のニーズや期待に応えるイベント・企画／情報発信等を効果的に実行する運営体制を維持し、活動していくことを目指す。



### 申し送り事項に対する2022年度の対応

会員企業にとって、役立ち、参加しやすい工夫・企画を現状の厳しい運営体制を踏まえ、検討し、試行する。（ダイレクトなコミュニケーションの機会創出、職場で活用できる実践的な講義、気づきを得る『一見の価値あり』の見学先の選定、教育・情報の提供など）

## 5. 2022年度の運営方針

### 2022年度の運営方針

### 『QMSの運用やプロセスを改善する』

- テーマ：QMSを変化に対応した運用や運用に必要なプロセスに改善するには

### 『QMSの運用やプロセスを改善する』とは・・・

- 様々な組織において、現在運用しているQMSは技術革新は言うまでもなく、現在の社会状況や企業活動状況の変化などの影響を受けており、組織にとって最適なQMSか？を常々考えていく必要性がある。
- QMSの目的は、品質保証や顧客満足向上の仕組みの構築とそれを達成するための運用であるが、外圧や義務感でのISO9001の認証維持などが目的となってしまうと、結果として『QMSの形骸化』を招き、『運用目的』、『パフォーマンス』、『効果』等に疑問を感じてしまう。

### なぜ『QMSの運用やプロセスを改善する』なのか・・・

- 世界中にて数年間続くパンデミックに起因し、社会や企業における活動が大きく変化してきていることを踏まえ、組織が現在運用しているQMSやそのプロセスは変化に対応できているか？対応できていなければどう改善していくべきか？を検討し、QMSを変化に対応した運用やプロセスに改善していくことが必要etc

## 6. 2022年度の活動計画 (1/3)

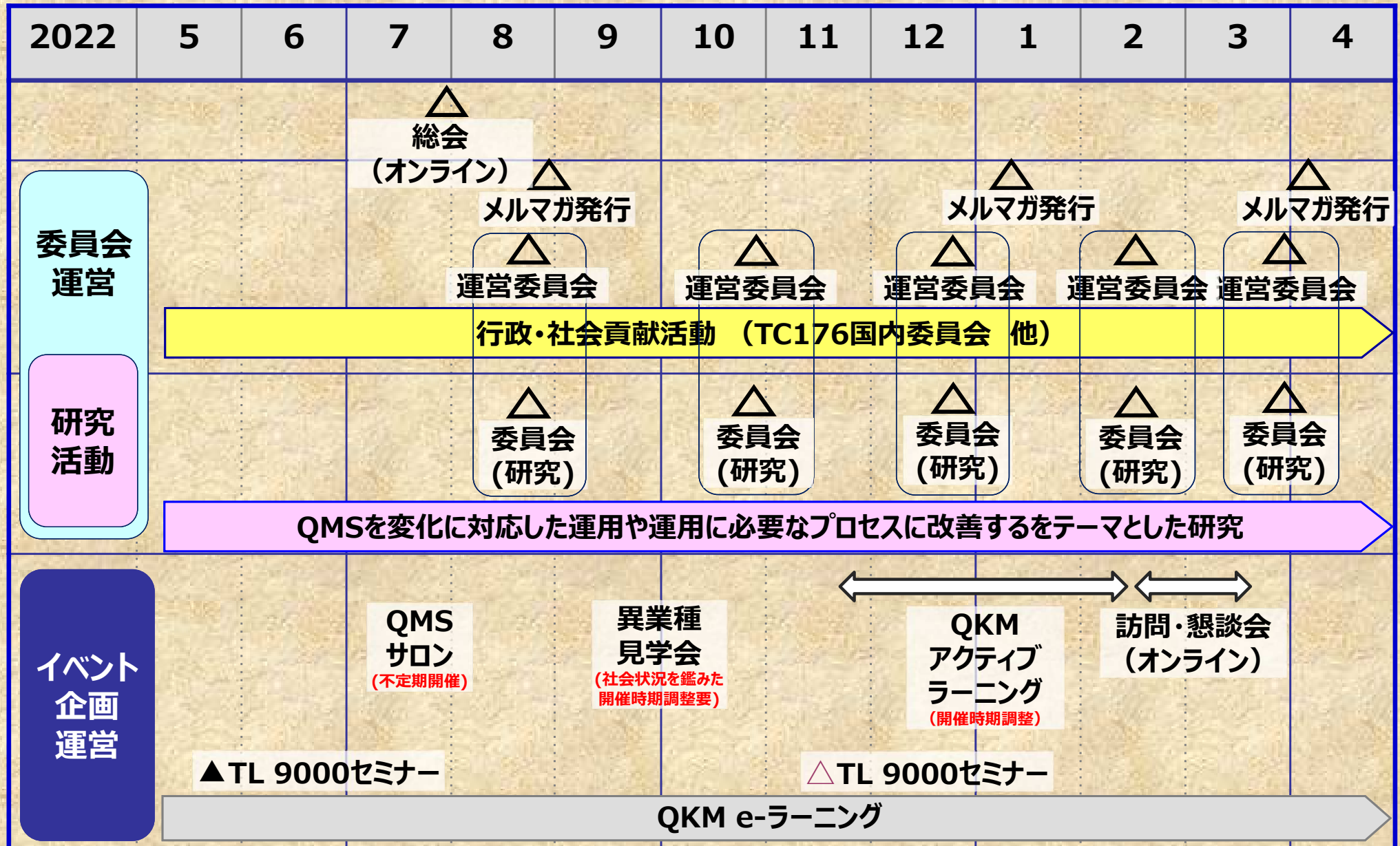
委員会運営	内容
運営委員会	<p>QMS委員会の意思決定の会議体。            QMS委員会の活動方針及びそれに伴う各活動の内容について、検討・議論の上、整合を行う場であり、また、研究活動も行う場。</p>
メルマガによる 会員向けの情報発信	<p>会員向けのメールマガジンによる、QMS委員会のイベント・企画の告知/報告、QMS関連の最新動向などのQMS関連情報の定期的なプッシュ型情報の発信。</p>
情報収集ならびに 行政・社会への貢献	<p>TC176国内委員会への委員派遣、ISOフィードバック調査や規格制定へのコメント実施。            標準化/品質関連諸団体のセミナー・教育参画による情報収集実施。</p>
研究活動	内容
<p>QMSを変化に対応した運用や運用に必要なプロセスに改善するにはどの様に考え、活動していけば良いのかを研究</p>	<p>「QMSを変化に対応した運用や運用に必要なプロセスに改善するには」をテーマとし、世界中にて数年間続くパンデミックに起因した、社会や企業における活動の大きな変化を踏まえ、QMSを変化に対応した運用やプロセスに改善していくことが必要であることをISO 9001に基づいた品質マネジメントシステムの本質を考え、研究活動を進めていく。</p>



## 6. 2022年度の活動計画 (2/3)

イベント企画・運営	内容
QKM アクティブラーニング	実践的なQMSの学びの場（講義形式，ワークショップ形式等）組織的学習のため，リスクを見つけ出し・機会(オポチュニティ)を自主的に取りにいく能力を身に付ける場。
訪問・懇談会	会員企業とのダイレクトなコミュニケーションの機会を創出。
QKM e-ラーニングサービス	ISO 9001:2015規格解釈に加え,品質管理基礎講座; 4コースを継続して提供。
TL9000セミナー	TL 9000の外部機関であるTIAクエストフォーラム日本ハブと連携したセミナーを提供。
異業種見学会	異業種の品質に関わる活動や交流を通して気付きを得る「異業種見学会」の開催。
QMSサロン	会員企業においてQMS推進に携わる方を交え，QMSへの知的資産活用やQMSの高度化活用への気づきの場を提供。 （会員企業メンバの気づきの声をふまえ，必要に応じてQMS研究活動へフィードバックする）
HPの運営	QMS委員会のHPの定期更新，会員企業への情報発信。

# 6. 2022年度の活動計画 (3/3)



一般社団法人  
情報通信ネットワーク産業協会



**C I A J QMS委員会のHP**  
**URL : <https://www.ciaj.or.jp/qms/>**

## 【ご参考】 外部機関との連携（行政・社会性）

